

ブリキ缶業界 ⑬

営業や倉庫、加工に準じた拠点を相次ぎ整備し、足元

富安は1919年（大正8）、故富安幸二郎氏（名古屋、広島、九州の5が大崎市浪速区稲荷町に支店と浦安、北九州の2創業した富安商店が発祥。地場の老舗ブリキ問屋から独立した経緯もあり、同製品の事業拡大と安定化を通じて「ブリキの富安」と評されるに至った。

組織体制をめぐって

1967年（昭42）には現在の社名に変更。その後も市場動向や顧客からの要請に応える格好で



強口 社長

富安

は、ブリキやティンフリースチール、アルミキヤントップの国内販売、東南アジア向けの輸出を手掛けるブリキ営業本部、ブリキ以外の各種鋼材・加工製品の販売を幅広く

全国で流通網確立

手掛ける鋼材営業本部は、創業以来中核を担うブリキは東西に加工・販売拠点をもち、せん断加工や金属印刷など最終需要家が求める、最適な状態を迅速な出荷が可能な供給体制を構築する。中長期的には需要喚起につながる新たな商品の企画や開発にも視線を向ける。



ブリキを軸に『未来志向』で業容拡大（東京本社）

企業活動を通して業界の発展に尽くす。いずれの事業においても、世代を越えて受け継ぐ「どうすれば（仕入先を含む顧客の）役に立てるか」との企業精神が流れ、常に顧客目線での対処や発想に力点を置く。長きにわたり先達が顧客から得てきた「信頼」や「誠実」といった企業像に対し、積極的かつ迅速な提案営業と情報発信を両輪に流通機能を発揮している。

2019年1月に創業100年の節目を迎える。昨今、次世代を見据えた取り組みにも余念が無い。その例として、社員の平均年齢が40代前半の現状を踏まえ、若手・中堅を対象に「未来に展望を掛け、貢献でき、喜びを味わってもらえる人材」

会社概要

- ▽資本金 2億2350万円
- ▽年商 41.8億円（15年3月期）
- ▽本社所在地 東京都墨田区太平4-5-15
- ▽社長 強口照雄氏
- ▽電話番号 03(5611)7770
- ▽従業員 97人（グループ総計480人）
- ▽扱い品目 ブリキをはじめとする各種鋼材ならびに非鉄金属、二次製品の販売、輸出入など

の育成や創出に力を入れる。各地の営業・生産拠点や関係会社の垣根を越えた「横の連携」のさらなる充実にも知恵を絞る。（中野 裕介）

